

広報紙 ほっかいどう

その先の、道へ。北海道

年5回発行(5・7・9・11・2月の下旬)



北海道

道産品が
当たる!

2016年

12月号

平成28年11月発行

通巻218号

【特集】未来と地域を担う人づくり

北海道を動かすのは人。
未来を切り拓く
力強い担い手を育てていきます。

社会の変化とともに、グローバル化が加速しています。

道では、これから時代に求められる人づくりに取り組んでいます。



北海道の発展のため
地域で、そして世界で
活躍できる人づくりに
取り組んでいきましょう。

北海道知事 府内ひさみ



「世界の中の北海道」
の視点で人づくり

北海道では、全国を上回るスピードで人口減少と少子高齢化が進み、未来と地域を担う人づくりが大きな課題となっています。

その一方で、道内に住民登録をしている外国人登録者や留学生などが近年増えているほか、アジアをはじめとする外国人観光客の増加や道産食品の輸出拡大など、経済活動でも急速にグローバル化が進んでいます。

こうした変化に対応し、北海道の発展につながる新たな一歩を踏み出すためには、「世界の中の北海道」という視点を持ちながら、「世界」や「地域」を見すえた人材育成に取り組むことが求められています。



幅広い人づくりが
未来づくりへ

そこで道では、世界を見すえ広い視野を持ったグローバル人材の育成をはじめ、子どもたちを対象に、郷土

への理解と愛着を深めることで将来地域で活躍できる人材を育てようと、小中高を通して体験学習などを行う「小中高一貫ふるさとキャリア教育」や、女性・若者への起業支援など新たな地域経済の担い手づくりに取り組んでいます。

特に、こじと9月に取りまとめたグローバル人材の育成方針では、北海道に求められるグローバル人材像を単に語学力に優れた国際人ではなく、「北海道への誇りと異なる文化への寛容を身につけ、国際社会に貢献する高い志と広い視野を持って、地域や世界の課題解決に向けて主体的に取り組もうとする意思を持つ人材」と位置づけました。

例えば、地域で暮らす外国人と積極的にコミュニケーションを図って交流できる人材や、海外に向けて道産品の輸出取引を行なうなど、販路の拡大を担う人材などを想定しています。

今後は、こうしたグローバル人材を育成していくための機運醸成はもとより、人材の育成や活用について話し合うネットワークの形成を図るとともに、若者の夢に向けたチャレンジを応援できる海外留学の促進といった、新たなグローバル人材の輩出を促す取り組みなどを通じて、北海道の未来を切り拓く人づくりを進めています。



人材育成は
息の長い取り組み

未来と地域を担う人づくりは、長い年月を必要とする取り組みです。そのためにも、いま生きる私たちがしっかりと地域で人材育成に取り組み、次の世代に引き継いでいかなければなりません。

時代や社会は変わっても、北海道を動かしていくのは人の力。人が輝く、活力ある北海道を目指して、それぞれの地域で人材育成を進めていきましょう。

中面では、
その具体的な
取り組みを紹
介します。

北海道クイズ
はっとうくわい
北方領土イメージ
キャラクターの名前は?

エ○カちゃん



答えは中面下に▶

▶特集(表紙)に関するお問い合わせ 道庁政策局 (011)206-7380

グローバル人材の育成については、道のホームページで閲覧できます。[北海道 グローバル人材育成](#) [検索]

世界を見すえて活躍できる人づくり

●北海道イングリッシュキャンプ事業

道では、北海道のグローバル化を支えるリーダーとなる人材を育成するため、生きた英語を学ぶ「北海道イングリッシュキャンプ事業」に取り組んでいます。

今年度は、小中学生向けの「イングリッシュキャンプ」を道内6ヵ所で実施。また、高校生を対象にした「スーパーイングリッシュキャンプ」を夏に深川市で開催しました。

高校生向けのスーパーイングリッシュキャンプは、夏・冬の年2回、合計7泊9日の宿泊生活を通して、外国語指導助手(ALT※)や留学生、通訳案内士などと一緒に過ごしながら英語によるコミュニケーション力を高めるとともに、国際感覚を磨きます。また、ディベートやプレゼンテーションなど発信型の英語活動を通して、リーダー

シップや積極性を高めていきます。

夏のキャンプに参加した生徒が冬のキャンプで再会し、互いの成長や英語力の伸びを確かめ合うことが、英語を学び続ける意欲の向上に結びついているようです。

▶道教育委員会高校教育課 石(011)204-5764
※ALT=小学校、中学校、高等学校の外国語授業で日本人教師を補助する外国人。



一期生のスーパーイングリッシュキャンプ

英語漬けの環境でつかんだ手応えが力になりました。

（写真：野口佳恵さん
(イギリスト中卒)

スープーイングリッシュキャンプに参加したのは、高2のとき。英語が好きで、学校のボスターで「英語漬けのキャンプ」という内容にひかれたのがきっかけです。

キャンプでは、海外のニュース番組を参考にチームでニュースビデオを作るなど面白い活動ばかりでした。一番印象に残っているのはディベートで優勝したこと。伝えたいことがうまく出

てこないもどかしさも感じましたが、とても手応えのある経験でした。

キャンプでは、つたない英語でもみんなが真剣に耳を傾けてくれるので、ミスを怖がるよりも伝えようとする気持ちが持てる事だと実感しました。

このキャンプへの参加がきっかけとなり、英語の勉強にも弾みがつきました。英語の授業についているまで英語力が伸び、大学入試後は英語で一般教養を学んでいます。さらに現在はondonの大学に留学し、経済の勉強をしています。

大学卒業後は、外資系コンサルティング会社で仕事をすることの目標。将来は起業も視野に入れ、語学力とコミュニケーション力を高めたいと思います。

地域経済を育て、元気にする人づくり

●女性・若者起業家育成支援事業

道では、人口減少問題への対応を視野に入れて地域経済の活性化や雇用の場づくりを進めています。地域の担い手として将来活躍が期待される女性や若者の起業支援に取り組んでいます。

「起業」という可能性を支援するため、起業相談会や実践起業塾、先輩起業家の交流会などを実施。また、道内の大学と連携して大学生向けの起業セミナーを開催しています。

さらに、起業を地域ぐるみで支える体制づくりとして、市町村や商工団体、金融機関、産業団体などによる「地域起業サポートネットワーク」の整備や、起業を応援したい先輩起業家を募集・登録する「地域メンター※登録制度」

の構築などを進めています。

▶道庁中小企業課 (011)204-5331

※メンターへここでは「先輩起業家」の意味

昨年度の起業志望者向け「実践起業塾」

やりたいことと信用力を
高めることが、成功の鍵。

（株）IMASSIVE SAPPORO
代表取締役 川村 健治さん

流が生み出す非日常性と人間らしいコミュニケーション。現在は道内11物件のシェアハウスのほか、シェアオフィスや民泊事業にも取り組んでいます。

道の実践起業塾での起業体験をお話ししましたが、企業経営は改善の繰り返し。課題の質が上がるほど、経営者として学ぶことも増えています。

起業で成功されるには、「やりたいこと」と「信用力」をバランス良く高めいくことが大事だと思います。最初からガツガツと飛ばしに走らず、のびのびとやりたいことにエネルギーを注げる北海道の風土は、女性や若者が起業にチャレンジしやすい土地柄といえるかもしれません。

東京の不産業界では8年間の経験をもとに、2011年に創立。故郷の札幌に戻り、一つの家に複数の入居者が集まって暮らす「シェアハウス」を北海道で初めて立ち上げました。

シェアハウスの魅力は、入居者同士の交

上川総合振興局

朱鞠内湖で、異次元の冬体験しませんか

上川管内 備内川の朱鞠内湖
原生林に囲まれた神秘的な湖。夏は涼やかな水遊び、冬は氷上で雪遊びを楽しめます。

上川管内 備内川の朱鞠内湖
原生林に囲まれた神秘的な湖。夏は涼やかな水遊び、冬は氷上で雪遊びを楽しめます。

総合振興局・鹿島町の話題をお届けします。

訪れます、が、またもたくさんのアワード体験が楽しめます。朱鞠内湖へ向かう車両は高い雪壁で囲まされ、まさに非日常の世界。スノーモービルで行く湖の奥深くでは、白く覆われた島々や時に氷が花のように見えるコロコロフラーを眺めることができます。また、カササギ釣りは道具の貸し出しやスタッフの指導が充実。湖畔のレストランでは、幌内そばや地元の山菜をふんだんに使ったメニューを楽しめます。

かみわかつづりツリズム 検索▶ 横川市観光協会 0(0165)35-2380

ワカサ

空知総合振興局

きっと行きたくなる「そらち・デ・ビュー」

空知地域の活性化と知名度アップを目的に、こども5月、絆を大切にする「そらち・デ・ビュー」が開催されました。

協議会のキヤッチコビ「そらち・デ・ビュー」には、道内外の空知がデビューやしていくことや、皆さんが観光や移住で空知をデビューやして欲しいなどの意味が込められています。また、Jマークは空知を象徴する「米、酒、石炭、雲」をモチーフに作成しました。キヤッチコビとロゴマークはインパクトなどから展出場する企業や団体などに贈呈されました。

実際に活用している様子です。どうぞご注目ください。

北海道 空知・デ・ビュー 検索▶ 北海道空知地域創生協議会事務局 0(0126)20-0000

高胆振原野

大地と自然と人をつなぐ、アポイ岳ジオパーク

日高管内の様似町には、さまざまなかんなる岩から成る山々や渓谷、固有の高山植物群落、そして、海岸の特殊な地形により良港であったため、交易の拠点として栄えてきた歴史と文化があります。

アポイ岳ジオパークは、様似町特有の自然環境や歴史、文化を学び、楽しむための大広の公園です。

2015年にはユネスコ世界ジオパークの認定を果たし、登録客も大きく増えました。冬も、白銀のアポイ岳登山などさまざまな冬が待っています。ぜひ一度訪れてみてはいかがでしょうか。

アポイ岳ジオパーク 検索▶ 様似町商工観光課 0(0146)36-2120

上川総合振興局

朱鞠内湖で、異次元の冬体験しませんか

上川管内 備内川の朱鞠内湖
原生林に囲まれた神秘的な湖。夏は涼やかな水遊び、冬は氷上で雪遊びを楽しめます。

上川管内 備内川の朱鞠内湖
原生林に囲まれた神秘的な湖。夏は涼やかな水遊び、冬は氷上で雪遊びを楽しめます。

総合振興局・鹿島町の話題をお届けします。

訪れます、が、またもたくさんのアワード体験が楽しめます。朱鞠内湖へ向かう車両は高い雪壁で囲まられ、まさに非日常の世界。スノーモービルで行く湖の奥深くでは、白く覆われた島々や時に氷が花のように見えるコロコロフラーを眺めることができます。また、カササギ釣りは道具の貸し出しやスタッフの指導が充実。湖畔のレストランでは、幌内そばや地元の山菜をふんだんに使ったメニューを楽しめます。

かみわかつづりツリズム 検索▶ 横川市観光協会 0(0165)35-2380

ワカサ

空知総合振興局

きっと行きたくなる「そらち・デ・ビュー」

空知地域の活性化と知名度アップを目的に、こども5月、絆を大切にする「そらち・デ・ビュー」が開催されました。

協議会のキヤッチコビ「そらち・デ・ビュー」には、道内外の空知がデビューやしていくことや、皆さんが観光や移住で空知をデビューやして欲しいなどの意味が込められています。また、Jマークは空知を象徴する「米、酒、石炭、雲」をモチーフに作成しました。キヤッチコビとロゴマークはインパクトなどから展出場する企業や団体などに贈呈されました。

実際に活用している様子です。どうぞご注目ください。

北海道 空知・デ・ビュー 検索▶ 北海道空知地域創生協議会事務局 0(0126)20-0000

高胆振原野

大地と自然と人をつなぐ、アポイ岳ジオパーク

日高管内の様似町には、さまざまなかんなる岩から成る山々や渓谷、固有の高山植物群落、そして、海岸の特殊な地形により良港であったため、交易の拠点として栄えてきた歴史と文化があります。

アポイ岳ジオパークは、様似町特有の自然環境や歴史、文化を学び、楽しむための大広の公園です。

2015年にはユネスコ世界ジオパークの認定を果たし、登録客も大きく増えました。冬も、白銀のアポイ岳登山などさまざまな冬が待っています。ぜひ一度訪れてみてはいかがでしょうか。

アポイ岳ジオパーク 検索▶ 様似町商工観光課 0(0146)36-2120

お知らせ 「北海道150年コマーラー」のネット投票にぜひご参加ください。期間／12月1日(木)～15日(木)投票は専用サイトで実施します。

北海道
150年 検索



いまこそ、北方領土

歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の北方領土は、今までに一度も外国の領土となったことがない、わが國固有の領土です。戦後71年が経過したいま、北方四島は返還されず、日本とロシアの間には、平和条約が締結されていません。



2016北方領土返還要求北海道・東北国民大会

1万7千名を超える元島民の方々は、すでに6割以上の方々が亡くなられており、一日も早い返還が望まれています。

こうした中、北海道は市町村や関係団体などと協力し、こし8月26日に「2016北方領土返還要求北海道・東北国民大会」を開催したほか、道内各地で署名活動や街頭啓発、北方領土展などを実行しています。

また、元島民の方々や運動関係者が北方領土を訪問する北方四島交流事業や、ロシア極東地域との経済交流などを通じて相互理解を図り、領土問題解決に向け取り組んでいます。

一方、日ロ首脳会談がこし5月にロシアのソチで、9月にはウラジオストクで開催されました。両首脳間で、今までの発想にとらわれない「新しいアプローチ」で交渉を精力的に進めていくことや、8つの「協力プラン」により経済交流など二国間の協力を進めていくことで合意しました。

そして、12月15日(木)には、山口県で日ロ



赤れんが庁舎前庭での署名活動

～道民の願いをひとつに、みんなで返還の実現を～

首脳会談が開催されます。

北方領土返還を実現するための外交交渉を強力に後押しするには、世代を超えて道民一人一人がこの問題を正しく理解し関心を高め、世論の結集を図っていくことが大切です。

道民の皆さんのお声で北方領土の早期返還を実現しましょう。



返還要求運動のシンボルの花「千島桜」

[返還要求運動の主な取り組み]

12月1日(木) 北方領土返還要求アピール行進(東京)

北方領土返還要求「全道一齊街頭啓発」

2017年

1月21日(土) “北方領土を考える”高校生弁論大会

2月 4日(土) 北方領土早期返還祈念合唱コンサート

2月 7日(火) 2017北方領土フェスティバル

▶道庁総務部 北方領土対策本部

☎ (011) 204-5069 [北方領土対策本部] 検索

▶公益社団法人 千島歯舞諸島居住者連盟

☎ (011) 205-6200 [千島歯舞諸島居住者連盟] 検索

▶公益社団法人 北方領土復帰期成同盟

☎ (011) 205-6500 [北方領土復帰期成同盟] 検索

※「北海道ひと・人・くふう」コーナーは、今回お休みいたします。次号をお楽しみに。

キラキラ★どさん子

道内各地で、未来に向かってきらきら輝く
そんな子どもたちを応援します。

宇宙に関する体験を通して、
冒險心や好奇心を育てています。

日本宇宙少年団北海道ブロック協議会

宇宙や科学への興味とチャレンジする心
を育成する日本宇宙少年団。道内では札幌、釧路、苫小牧、余市、大樹の5つの分団が
活動中です。将来、宇宙で生活や仕事をす
ることを目標に、無重力の環境や宇宙での
衣食住などを学んでいます。また、水と空気
の力で飛ぶロケットの実験や宇宙食の体験なども行っています。



光の観測装置の製作

水口ケット全国大会

①札幌市 ②釧路市 ③苫小牧市 ④余市町 ⑤大樹町

さらに、道内の団員同士をはじめ、宇宙に関わる技術者とも
も交流。北海道ブロック協議会長の藤島豊久さんは「交流で刺激を受けるよう
です。宇宙飛行士だけではなく、さまざまな技術者の仕事を知り、将来の夢を
描く子もいます」と子どもたちの未来の姿を楽しみにしています。

▶お問い合わせ 日本宇宙少年団北海道ブロック協議会 ☎ (0144)33-9158

北海道の人口	総人口	男	女
平成28年9月末	5,377,435人	2,540,235人	2,837,200人
前年同月比	29,427減	14,978減	14,449減

※人口は年4回公表される
統計資料に基づき直近の
データを掲載しています。

次号のお知らせ

3月号は平成29年2月22日(水)から配布予定です。

当たる! 北のおいしさ!

ホクレンのじゃがいも・玉ねぎ詰め合わせをプレゼント!

[男しゃく(L・3kg)メークイン(特M・3kg)玉ねぎ(L・4kg)]

●当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。

抽選で
30名様



次のアンケートに答えて道産品を当てよう!

12月号の中で興味を持ったのは、どの記事ですか?

①特集(未来と地域を担う人づくり)

②お知らせ北海道 ③地域ニュース ④道議会から

⑤いまこそ、北方領土 ⑥キラキラ! どさん子

●応募方法: アンケートの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本紙への意見・感想を記入の上、ハガキ、パソコンまたは携帯サイトでご応募ください。

●応募期限: 12月26日(月)必着 応募いただいた方の個人情報は、当選品の発送以外には使用いたしません。

●応募先 ハガキ ☎ 060-8588(住所不要)

北海道広報広聴課「当たる! 北のおいしさ!」係

パソコン 広報紙はっかいどう 検索

●掲載記事の関連ページ、広報紙アンケート結果、広報紙のバッケンバーなどの閲覧も上記から

アクセスできます。※10月号のプレゼントには、5,225件の応募をいただきました。



この広報紙は環境に優しい植物性インキ
と古紙配合率70%再生紙を使用してい
ます。本文には見やすいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。

広告

※この広告は、広告主の責任において北海道が掲載しているものです。